

センターだより

令和5年2月15日

No. 76

東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 今 井 宏 明

指導主任 松 澤 朗

事 務 石 橋 牧 子

「三地区合同研修会」ありがとうございました

10月8日、「三地区合同研修会」を無事開催することができました。

開催日が秋祭りシーズンと重なり、事前に「参加できなくてすみません」と丁寧なお断りまで頂いた指導員さんもみえました。都合をつけて参加頂いた皆様方には感謝しています。研修会では、井戸宏子様から「現代の子ども達を知る」という演題で講演をして頂きました。井戸宏子様が講演の際に配布された資料並びに講演を聴かれた指導員の方々のご感想を紹介させていただきます。



「現代の子ども達を知る」

講 師 井 戸 宏 子 様

現代は親世代と子ども世代とのギャップが大きく広がっています。そのため子ども世代の現状理解はとても大切と言えます。

1. 時代背景
 - ・ 学歴、高学歴、男女差
 - ・ 就職、就活、就労体系、就労条件
 - ・ 結婚、価値観の変化
 - ・ 社会情勢、バブル、リーマン、コロナ
2. 子どもを取り巻く環境
 - ・ 学校教育の変遷、つめこみ教育、ゆとり教育
 - ・ ゲーム、ネット社会
 - ・ 発達障がい児への対応
 - ・ コロナによる発達への影響
3. 家族について
 - ・ ステップファミリー
 - ・ 年収格差
 - ・ 子育て方針
 - ・ 母子家庭
 - ・ ヤングケアラー
4. 援助者として求められていること
 - ・ 自己管理を深める
 - ・ 個々の状況に合わせた対応をする
 - ・ 価値観の多様性
 - ・ 客観的、冷静さを保つ
5. これから必要とされること
 - ・ 自分自身を思いやる
 - ・ 幸福感を高める
 - ・ ストレス軽減
 - ・ レジリエンスが高まる

【講話を聴かれた方々からの感想を頂きましたので、一部紹介します。】

- 数十年間の子どもを取り巻く状況・環境が変わってしまったことを実感しました。多くの方に聞いてほしい話でした。
- 少年センターの指導員として長く取り組んでいますが、本日改めて「現代の子供たちを知る」ことの重要性を思い知らされました。今後、一層の自己研鑽に努めます。
- 大変興味深いお話でした。発達障がい児への対応について、参考になりました。
- 発達障がいについて、色々と知識を得ることができました。次に自分自身を思いやることがとても大切だと思いました。自分自身が客観的・冷静さを保てるように心がけます。
- 子供を取り巻く環境の変化などについて、特に参考になりました。自分の言動・態度を振り返ってみたいと思いました。
- レジメの中の、「コロナによる発達への影響」については興味深く、これからどのような形で表れてくるのか気になるところです。
- 中学1年生の娘と高校2年生の息子の母親として耳が痛い話ととてもためになる話が聞けました。ありがとうございました。
- とても分かりやすいお話で、これからの指導に役立てていきたいです。自分自身の生き方にも参考になりました。
- 子どもや親の気持ちなどがよくわかるお話でした。ありがとうございました。
- 相手に「いいね」を言うために頑張っていますが、これからはあまりエネルギーを使わない話し方にしたいと思いました。

「瑞浪高校・多治見西高校・麗澤瑞浪高校による啓発活動」

10月18日午後3時30分から、瑞浪駅前
で瑞浪高等学校の1年生MSリーダーズのメン
バー13名が、「青少年の健全育成」のため
に、「東濃西部少年センターへの相談及び情報
交流の呼びかけ活動」を実施して頂きました。
4月6日に続き、今年度3回目の活動でした。
今回は「歩きスマホは危険です。やめま
しょう。」という一声をそえながら、少年セン
ター作成の「モバイルクリーナー」を配布しま
した。受け取って頂いたご婦人からは、「メガ
ネやスマホを拭くのに役立つわね。」と喜んで
頂き、早速使ってみえました。



また、少年センターの業務内容についてのお尋ねがありました。「20歳未満の青少年やその保護者・関係者の方々の相談窓口となっている」ことをお伝えすると、「家庭や学校以外の地域の中には、高校生の相談できる場所が少ないように思っていたので、少年センターのような場所があることはとても大切だと思います。ぜひ支えてあげてください。」とおっしゃって見えました。

多治見西高等学校の生徒の皆さんによる「青少年健全育成」のための啓発活動が7月に続き、10月・12月と行われました。

両月共に朝7時30分から小泉駅前・学校校門前など学校周辺に分かれ、東濃西部少年センター作成の「モバイルクリーナー」を配布しながらの活動でした。多治見西高校の生徒さんには、今年度3回の取り組みをして頂きました。

また、10月に学校訪問をさせて頂いた朝7時20分頃には、グラウンド（バスケットコート）の草抜きをしている女子生徒たちを見かけました。担任の先生の呼びかけで自主的に行っているとのことでした。啓発活動のような行事としてのボランティア活動と共に、こうした自主的な環境整備に関わる奉仕活動も地道に行われている多治見西高校は素敵な学校だと感じました。



麗澤瑞浪高等学校の生徒の皆さんが、12月1日（金）の昼休みに、挨拶運動並びに啓発活動として、東濃西部少年センター制作の「ティッシュペーパー」と「モバイルクリーナー」を配布して頂きました。

コロナウイルスが再び蔓延しているということもあり、学校内での活動となりましたが、晴天のもと生徒同士、生徒と教員の間にも明るい挨拶が飛び交いました。麗澤瑞浪高等学校の雰囲気の良いが伝わる爽やかな場面でした。



指導員の皆さんへ「4月の声かけ活動」について

指導員の皆様方には、コロナ禍そして寒さ厳しい中にも関わらず、熱心に「声かけ活動」に取り組んで頂きありがとうございます。

「4月の声かけ活動」について以下のような問い合わせがありましたので、連絡いたします。

「4月は、学校や会社の異動なのでメンバーが揃いにくいですが、実施を中止してもよろしいでしょうか。」

4月の活動については、「新年度が始まり子どもたちの新たなスタートなので声かけ活動を大切にしている。」という意見もあります。従って、班のメンバーの方の諸事情など、編成において支障がある場合は、活動を中止して頂ければと思います。

これは、「コロナ禍」「熱中症対応」「雪対応」など、活動に支障がある場合についての中止決定についても、班内で無理がないようお願いいたします。

「少年センターへの相談・あれこれ」（10月～1月）」

少年センターへ相談及び連絡を頂いている中で、連絡者の方のご理解を得ている内容について、一部紹介をさせていただきます。

○小学校6年生の女子児童のお母さんからの相談です。

「中学校入学の準備で、中学生の子供を持つ友人のお母さんから『制服の注文を早くした方がいいよ』と言われました。急いで購入した方がいいですか？」

この相談を受けたのは、10月初めでしたので以下のように話しました。

お子さんが初めて中学校に入学する前は、どの保護者の方も心配なことが多いと思います。しかし、事前に中学校で「入学説明会」が開催され、詳しく説明があるので、あまり慌てなくても大丈夫です。

○中学校3年生の女子生徒のお母さんからの相談です。

「進路選択・決定を控え、子どもとじっくり向き合って話をしたいと思っていますが、そうしたムードになりません。以前、子どもの進路希望に対して反対をするようなことを言ってしまったことが原因のように思います。どうしたらいいのでしょうか？」

親として子どものことが心配になり、良かれと思って言ったことが、子どもにとっては素直に受け取れないことはよくあります。「頭ごなしに反対をしているわけではない」という親としての正直な思いを伝え、子どもにとって「良き話し相手」になりたいです。

相談を受けたのは10月初めでしたが、この先中学校の先生との「三者懇談」も始まります。子どもたちにとっては「不安であり、緊張する場」でもあります。そうした時こそ「温かく支える親さん」でありたいです。

岐阜県青少年健全育成県民大会

～全ての子ども・若者の健やかな成長を願う県民のつどい～

令和4年度の岐阜県青少年健全育成県民大会が、11月27日（日）「八百津町中央公民館」において盛大に実施されました。

この大会において、東濃西部少年センターの少年指導員の方が、「岐阜県環境生活部長表彰（10年）」並びに「県民会議会長表彰（5年）」を受賞されましたので紹介します。



岐阜県環境生活部長表彰：優良少年補導委員等表彰

石原元さん（多治見市）

鬼頭博英さん（土岐市）

山下広美さん（土岐市）

県民会議会長表彰：優良少年補導委員等顕彰

白石清さん（多治見市）

堤達男さん（多治見市）

石黒喜代子さん（多治見市）

服部元幸さん（多治見市）

遠藤将寿さん（瑞浪市）